

NGO 神戸外国人救援ネット・ニュースNo.78

NGO Network for Foreigners' Assistance KOBE NEWS No.78



発行／特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット(理事長／薺本郁)

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 1-28-7 TEL&FAX:078-271-3270

ホットライン専用 TEL:078-232-1290

E-mail: gqnet@poppy.ocn.ne.jp * <https://gqnet.jp/>

郵便振替<01100-2-60701 NGO 神戸外国人救援ネット>

★ 巻頭言★

「救援ネット 30 年の集い」が開かれました

飛田雄一(NGO 神戸外国人救援ネット 前代表)



6 月 22 日(日)、神戸学生青年センターホールで 30 周年の集いが開かれました。

第 1 部は神田裕神父(初代代表、1995～2000)の講演。テーマは「私と神戸と救援ネット」。「30 年のことを 40 分で話しするのはむづかしいか」と思います。きょうは自分のことを話そうかと思ひます」と話がはじまりました。神父になったころの話から、鷹取教会に來たときのこと、そして 7 年目に地震が起ったことなどなど、いろいろな話がありました。私は当時のことを思い出しながら聞きました。そんなこともあったのかという、初めて聞く話もありました。

第 2 部は、懇親会。50 名の参加で盛り上がりました。最初のスピーチは、竹沢泰子さん。芹田健太郎さんのあと兵庫県外国人共生会議の座長をつとめられました。司会は、日比野純一さん。(次頁写真①)

参加して下さった 6 名の協力弁護士の自己紹介がありました。写真②の左から坂本弁護士、野田弁護士、石田弁護士、相原弁護士、増田弁護士。そして、乾杯の発声は吉井弁護士。

救援ネット歴代コーディネータで、参加してくれたのは、写真⑤の左から吉富志津代さん、松代東亜子さん、間野静雄さん、村西優季さんの 5

名。参加できなかったのが、鈴木隆子さん、森田豊子さん、尹英順さん、葉名利栄子さん、武田真由美さん。ほんとうにお世話になりました。

料理は、南京町の神戸アジア食堂「SALA」のオードブル。すてきなメッセージ付きでした(写真③)。毎年、年末の忘年会はここで開かれます。今年は 12 月 8 日?

北村広美さん作成のスライドショーは、救援ネット 30 年の思い出深い写真のオンパレードでした。草地賢一、神田裕、金宣吉、飛田らの震災 2 か月後のカラオケ会なども。どこかでネット公開してほしいものです。

そして、最後の記念写真です。飲みつぶれるという参加者はおらず(ビールが少なかった?)、無事に懇親会は終了しました。

「集い」に先立ち「特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット」の総会が開かれました。事業報告、会計報告、監査報告、活動計画、収支予算が、いずれも承認されました。新年度役員も選出され、総会後の新理事会で、新しい理事長に薺本郁さんが就任することになりました。飛田は理事として残ります。

更に新たな歩みを続ける救援ネットをこんごともよろしくお祈いします。





- ① 懇親会スピーチ・竹沢さん、司会の日比野さん
- ② 協力弁護士の皆さん
- ③ アジアン食堂バル SALA のオードブルとメッセージ
- ④ 吉富さん、もりきさん、シスターマリア
- ⑤ 歴代事務局メンバー
- ⑥ 設立当時は若手だった実吉さん、田村さん
- ⑦ 新理事長・觜本さん、前理事長・飛田さん

ごあいさつ

理事長 觜本 郁

この度、NPO法人NGO神戸外国人救援ネットの理事長に就任しました觜本です。

2000 年 8 月に飛田雄一さんが神田裕さんから代表を引き継ぎ、2022 年 8 月のNPO法人化後も飛田さんが理事長として重要な役割を果たしていただきました。本当に長い間、ありがとうございました。飛田さんには引き続き理事として、長い外国人支援活動の経験と知識、人脈・ネットワークを生かしたサポートをお願いしています。

日本で暮らす外国人が今後ますます増加していくことは確実です、救援ネットに寄せられる相談も件数が増えるだけでなく、その内容も多様化・複雑化し専門性も求められるようになってきています。外国人の人権と生活を守るため救援ネットが果たす役割はますます重要となっています。多様なニーズに応えられるような活動を展開していきたいと考えています。

現在の外国人をめぐる状況は残念ながら由々しきものと言わざるを得ません。事実に基づかないフェイクニュースが横行し、排外主義的な主張が大手を振って広がっていくことに危機感を抱かざるを得ません。生活を保障し権利を守ることが当たり前でないという異常な状況です。こんな社会であっていいはずがありません。このような動きに対しても確実にそして地道に取り組んでいきたいと思ひます。

阪神・淡路大震災以降、多くの方に支えられ活動を続けてきました。引き続き、スタッフ・理事・運営委員一同頑張っていきますので、どうかよろしくお願いいたします。

2024 年度 ひょうご多文化共生総合相談センター (週末相談)事業実施報告

2019 年 4 月 1 日より「ひょうご多文化共生総合相談センター」がスタートしました。月～金 9 時～17 時は(公財)兵庫県国際交流協会外国人県民インフォメーションセンターが、土・日曜日 9 時～17 時は NGO 神戸外国人救援ネットが担当しています。以下に 2024 年度の相談件数をご報告します。

相談件数【週末】 363 件 (※NGO 神戸外国人救援ネットが担当した土曜日・日曜日分)

相談言語【週末】

日本語	英語	スペイン語	ポルトガル語	タガログ語	ベトナム語
187	81	51	18	12	7
中国語	アラビア語	韓国語			
5	1	1			

相談内容【週末】

くらし	出入国	婚姻	医療	住居	社会保険	労働	教育	国籍等
96	93	42	39	35	33	20	12	8
税金	就職	運転免許	日本語学習	防災災害	ボランティア	ビジネス	その他	
6	5	4	2	1	1	1	21	

相談件数【全体】 3,347 件 対前年度比 5.7%減 (2023 年度 : 3,551 件、2022 年度 : 4,264 件)
(※外国人県民インフォメーションセンター + NGO 神戸外国人救援ネット)

相談言語【全体】

スペイン語 1,349 件 (40.3%) (前年度 : 1,707 件、第 1 位)
ポルトガル語 728 件 (21.8%) (前年度 : 554 件、第 3 位)
日本語 614 件 (18.3%) (前年度 : 615 件、第 2 位)
中国語 323 件 (9.7%) (前年度 : 327 件、第 4 位)
英語 280 件 (8.4%) (前年度 : 260 件、第 5 位)

相談内容【全体】

くらし 726 件 (21.7%) (前年度 : 772 件、第 1 位)
医療 612 件 (18.3%) (前年度 : 636 件、第 2 位)
出入国等 337 件 (10.1%) (前年度 : 337 件、第 3 位)
社会保障 337 件 (10.1%) (前年度 : 337 件、第 3 位)
教育 302 件 (9.0%) (前年度 : 315 件、第 5 位)

(兵庫県「2024 年度ひょうご多文化共生総合相談センターの相談状況」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr13/20250526.html>)



2024 年度 ホットライン事業報告

2024 年度の新規相談件数は 165 件と昨年（161 件）からほぼ横ばい状態。男女比も昨年度同様で女性の相談者が多く、男性の倍以上であった。

内容別では、「在留資格」、「家族関係」、「くらし」の上位 3 つは昨年度と同様で、4 位以下は「医療」、「社会保障」、「住居」と続く。「家族関係」の相談には、DV、離婚の相談が含まれており、最近では外国籍同士の夫婦のケース、日本人夫による DV の場合でも婚姻期間が短く子どももないケースなど、離婚後の在留資格や生計維持の方法など複合的な課題のある事例も多い。

相談者の国籍は 29 か国（不明 2 件）。例年と変わらずフィリピンが多く、次いで日本、ブラジル、ベトナム、ペルーとなっている。

言語は日本語、タガログ語、英語が上位であるが、英語は、アフリカ出身者など母語の通訳者がおらず英語で対応するケースも多い。

なお、2024 年 12 月末現在での兵庫県の在留外国人総数は、142,676 人と 1 年前から約 1 万人増。国籍別では韓国、ベトナム、中国、ネパール、フィリピン、インドネシア、ミャンマーの順となっている。全国の在留外国人総数は 2024 年末に 376 万 9 千人となり、3 年連続で過去最多を更新、国による想定の 2 倍のペースで増えているとされる。今後も増加すると見込まれる相談に適切に対応できるよう、通訳者の確保も含め、よりよい相談体制の構築に努める。

【新規相談件数】 165 件 【相談者性別】 男性：45 名 女性：123 名

【相談対応形態】 来所：82 件 電話：82 件 メール：1 件

【国籍別相談者数】

フィリピン	日本	ブラジル	ベトナム	ペルー	中国	韓国・朝鮮	シリア	アメリカ	タイ	ネパール	ラトビア	ボリビア	スペイン	ルーマニア	ナイジェリア	モルドバ	不明	その他
61	32	10	7	6	5	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	3	12

その他内訳：イラン、ウクライナ、ウガンダ、オーストラリア、オランダ、コロンビア、ニュージーランド、パキスタン、バングラディシュ、ミャンマー、モロッコ、リビア 各 1 件

【相談内容】

在留資格	家族関係	くらし	医療	社会保障	住居	教育
51	31	26	21	18	17	10
労働	就職	運転免許	国籍	日本語学習	その他	
8	4	3	2	2	10	

【言語別】

日本語	タガログ語	英語	スペイン語	ポルトガル語	ベトナム語
63	55	17	14	10	2
タイ語	中国語	アラビア語			
2	1	1			

2024 年度 同行通訳・同行支援事業実施報告

2024 年度の同行通訳・同行支援事業による同行通訳・同行支援件数は、昨年度の 277 件からやや減少し 230 件であった。

国籍別では、第 1 位はこれまで同様フィリピンであるが、シリアが増加し 2 位となっている。次いで、ブラジル、中国、ラトビア、ベトナムと続いている。

言語別では、タガログ語、英語、ポルトガル語と日本語でほぼカバーできてはいるが、昨年度から引き続きアラビア語での対応も多く、通訳者の手配が課題である。

相談内容は、DV、家族関係、在留資格、医療、社会保障、住居と、ほぼ例年通りで、同行先は、法律事務所、医療機関、相談者宅が多く、他にも役所、裁判所、学校・保育所等、警察署等と多岐に渡る。

2024 年 12 月末現在での兵庫県の在留外国人数内訳は、特別永住者が 32,443 人 (33,282 人 (前年、以下同))、永住者が 28,971 人 (28,300 人)、留学が 16,656 人 (13,664 人)、技能実習が 15,238 人 (11,061 人)、技術・人文知識・国際業務が 11,461 人 (10,001 人) と続いている。また、特定技能は 10,104 人と前年の 7,623 人から 32%増、技能実習は前年比 37%増、技術・人文知識・国際業務も 14%増となっている。また、留学や技術・人文知識・国際業務の増加に伴い、家族滞在も 9,777 人と 29%増となっている。

増加している就労系の在留資格や家族滞在の外国人は、社会情勢、個人の健康・就労状況により困窮する可能性が大きく、その場合に利用できる公的支援も限られる。支援が必要なケースに適宜対応できるよう、通訳も含め、人的資源の確保、育成が課題である。

【同行件数】 230 件 【相談者性別】 男性：53 名 女性：246 名

【国籍別相談者数】

フィリピン	シリア	ブラジル	中国	ラトビア	ベトナム	ルーマニア	タイ	ウガンダ	日本	インドネシア	ウクライナ	ガーナ	タンザニア	チリ	ナイジェリア	モルドバ	リトアニア
86	54	39	19	19	15	14	14	13	13	6	1	1	1	1	1	1	1

【同行先】

法律事務所	医療機関	相談者宅	役所	裁判所	学校・保育所等
58	30	26	25	14	8
警察署	銀行・郵便局	ホームセンター	入管	不動産会社	ハローワーク
7	6	5	4	4	4
職業訓練所	母子生活支援施設等	子ども家庭センター	救援ネット	オンライン	その他
4	4	3	15	15	16

【同行内容】

DV	家庭関係	在留資格	医療	社会保障	住居
90	79	41	35	31	29
教育	労働	国籍	食料支援	その他	
15	9	2	14	21	

【言語別】

日本語	英語	タガログ語	ポルトガル語	アラビア語	中国語	ベトナム語	インドネシア語	スペイン語	タイ語
66	61	56	38	36	18	15	6	2	1

NGO神戸外国人救援ネット 2024 年度(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)会計報告

科目	金額	
(1)経常収益		
受取会費	161,000	
受取寄付金	1,782,273	
受取助成金等	6,000,000	
事業収益	6,261,576	
その他収益	51,882	
経常収益合計		14,256,731
(2)経常費用		
生活相談事業費	6,748,200	
同行支援事業費	3,608,859	
居住支援事業	2,661,534	
学習会・研修会事業	0	
管理費	2,059,351	
経常費用合計		15,077,944
当期経常増減額		-821,213
税引前当期正味財産増減額		-821,213
法人税、住民税及び事業税		72,000
当期正味財産増減額		-893,213
前期繰越正味財産額		3,930,066
次期繰越正味財産額		3,036,853

NGO神戸外国人救援ネット 2025 年度(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)会計予算

科目	金額	
(1)経常収益		
受取会費	180,000	
受取寄付金	2,800,000	
受取助成金等	2,200,000	
事業収益	6,051,800	
その他収益	51,000	
経常収益合計		11,282,800
(2)経常費用		
生活相談事業費	6,068,000	
同行支援事業費	3,100,000	
居住支援事業	1,100,000	
学習会・研修会事業	0	
管理費	2,078,500	
経常費用合計		12,346,500
当期経常増減額		-1,063,700
税引前当期正味財産増減額		-1,063,700
法人税、住民税及び事業税		72,000
当期正味財産増減額		-1,135,700
前期繰越正味財産額		3,036,853
次期繰越正味財産額		1,901,153

2025 年度活動計画

- 1 外国人の人権擁護のための多言語で行う相談・支援事業
電話及び面談での多言語での相談及び支援活動を(1)～(3)の通り行う
 - (1) 多言語生活相談ホットラインの実施
 - ①団体としての相談対応(電話・来所)
毎週金曜日 13:00～20:00
 - ②ひょうご多文化共生総合センター(兵庫県委託事業)としての相談対応(電話・来所)
毎週土・日曜日 9:00～17:00
 - (2) よりそいホットライン(一般社団法人 社会的包摂サポートセンターが受託する国の事業)の多言語ラインに協力
 - (3) 上記以外の相談・支援事業
- 2 外国人の地域での生活を支える事業
 - (1) 相談のフォローアップ、同行支援・同行通訳
 - (2) 兵庫県内各地での移動生活相談会
 - (3) 兵庫県外国人 DV 被害者自立支援活動事業、神戸市 DV 被害者支援活動
 - (4) 難民申請者の生活支援
 - (5) 物価高騰等の影響による生活困窮者等支援
 - (6) 多文化ルーツの子どもの福祉のための事業
 - (7) 通訳者派遣、翻訳コーディネート
- 3 外国人の居住支援事業
 - (1) 外国人の住宅セーフティーネット確立のための取り組み(居住支援法人の指定を目指す)
- 4 外国人の人権擁護に関する調査、研究、提言事業
 - (1) 学習会・研修会の実施
 - (2) 報告書、パンフレット等の作成、販売
 - (3) 講師派遣
 - (4) 以下の団体とのネットワーク構築と協力活動
 - ・移住者と連帯する全国ネットワーク
 - ・すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク(RINK)
 - ・ひょうご DV 被害者支援連絡会(HYVIS)
 - ・退去強制手続きと子どもの権利ネットワーク
 - ・人種差別撤廃 NGO ネットワーク
 - ・有償家事労働ネットワーク
 - ・兵庫県在日外国人教育研究協議会
 - ・外国人相談窓口担当者連絡会(GONGO)
 - ・協議離婚問題研究会(リコン・アラート)
 - ・ひょうご働く人の相談室
 - ・居住支援ネットワーク会議
 - ・中央区多文化まちづくりの会
- 5 その他
 - (1) 組織体制・財政基盤確立のための検討と取り組み
 - (2) ニュースレターの発行(年 2 回)
 - (3) 設立 30 周年記念事業
- 6 事業実施体制
 - (1) 事務局
 - ・事務の処理、日常相談業務を実施する
 - ・開所時間: 月・水曜日 10:00～18:00、金曜日 10:00～20:00、土・日曜日 9:00～17:00
 - (2) 総会
 - (3) 理事会
 - ・定例理事会は、毎年 2 回開催する
 - (4) 運営委員会
 - ・月に一回程度開催し、事務局から事業実施状況の報告を受け、検討事項を共有し協議する
 - ・運営委員会は理事と運営委員で構成される
 - (5) 登録通訳者
 - (6) 協力弁護士

2025 年度 NGO 神戸外国人救援ネット運営委員及び協力弁護士

理事	運営委員		協力弁護士 (順不同、敬称略)
理事長	○	菅本 郁 (神戸の冬を支える会)	相原 健吾
副理事長	○	北村 広美 (多文化共生センターひょうご)	石田 真美
	○	森木 和美 (Masayang Tahanan)	今西 雄介
○	○	飛田 雄一 (神戸学生青年センター)	清田 美夏
	○	神田 裕 (たかとリコミュニティセンター)	坂本 知可
○	○	日比野 純一 (FMわいわい)	佐藤 功行
	○	金 宣 吉 (神戸定住外国人支援センター)	鄭 聖 愛
○	○	フフデルゲル (神戸定住外国人支援センター)	仲尾 育哉
	○	吉富 志津代 (ひょうごラテンコミュニティ)	野田 倫子
○	○	李 裕 美 (多言語センターFACIL)	野村 明弘
	○	村山 勇 (兵庫日本語ボランティアネットワーク)	白 承 豪
	○	寺下 賢志 (申請取次行政書士)	韓 検 治
○	○	木谷 公士郎 (カトリック社会活動神戸センター)	平野 晃子
○	○	鋤柄 利佳 (アジア女性自立プロジェクト)	福田 大祐
	○	斉藤 善久 (神戸移民連絡会)	別所 美保
	○	鳥本 敏明 (日本ベトナム友好協会兵庫県連)	北江 康親
○	○	坂西 卓郎 (PHD協会)	増田 正幸
	○	濱 宏子 (PHD協会)	増田 祐一
○	○	村西 優季 (NGO神戸外国人救援ネット事務局)	松本 隆行
監事		増田 祐一 (神戸合同法律事務所)	吉井 正明

主な事務局活動

* 毎週 (月・水・金・土・日) 事務局開所

* (金) 多言語生活相談ホットライン、(土・日) ひょうご多文化共生総合相談センター

2025 年 1 月～2025 年 6 月

2 月 10 日 (月) / 5 月 12 日 (月) / 6 月 22 日 (日) 理事会
 1 月 20 日 (月) / 3 月 10 日 (月) / 4 月 14 日 (月) / 6 月 9 日 (月) 運営委員会 6 月 22 日 (日) 総会
 1 月 9 日 (木) / 3 月 9 日 (月) / 3 月 31 日 (月) / 5 月 29 日 (木) / 6 月 30 日 (月) 多文化まちづくりの会
 1 月 16 日 (木) ひょうご DV 防止ネットワーク会議
 1 月 23 日 (木) GONGO テーマ: 学校における外国人児童生徒へのケアについて
 2 月 1 日 (土) CEDAW 報告会 in 大阪
 2 月 8 日 (土)～9 日 (日) 移住連拡大運営委員会@大阪に出席
 2 月 9 日 (日) HYVIS 主催公開講座『どうなる?? 共同親権を学び、支援について考える』
 2 月 16 日 (日) 移動相談会 in 丹波
 2 月 25 日 (火) ひょうごボントリー基金助成 報告会
 2 月 26 日 (水) HYVIS 定例会
 3 月 6 日 (木) 神戸市食料支援事業 交流会
 3 月 22 日 (土) よりそいホットライン 外国語専門ライン拠点会議【オンライン】
 3 月 31 日 (月) / 6 月 2 日 (月) 協議離婚問題研究会 (リコンアラート) 会議【オンライン】
 4 月 19 日 (土) 移住連拡大運営委員会@名古屋に出席
 4 月 23 日 (水) HYVIS 定例会・総会
 5 月 26 日 (月) 財政基盤確立のための検討会
 5 月 30 日 (金) 真如苑・多文化共生ネットワーク会議
 6 月 21 日 (土)～22 日 (日) 移住連全国フォーラム 2025 in 北関東
 6 月 22 日 (日) NGO 神戸外国人救援ネット 30 周年の集い

事務局活動時間について

★事務局活動時間は以下のとおりです。★

事務局開所時間: 月・水曜日 10:00 ～ 18:00、金曜日 10:00 ～ 20:00、土・日曜日 9:00 ～ 17:00

生活相談ホットライン: 金曜日・・・英語、タガログ語、スペイン語 (10:00 ～ 20:00)、
ポルトガル語 (13:00 ～ 20:00)、中国語、ベトナム語、ロシア語 (事前予約制)